

授業科目

ケアマネジメント論

担当教員名 武井 恒美	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

複数の多様なニーズを抱える利用者を、より効果的に支援していくためのケアマネジメントの理解と実践の概要を学ぶ。

授業の目的

支援を必要とする人の望む暮らしを実現するための知識と思考を獲得する。

学習目標

- 1 国内外のケアマネジメントの歴史と機能について、知識を深め理解する。
- 2 利用者の抱える生活ニーズの捉え方（アセスメント）について、演習を通し個別性、多様性の観点から理解する。
- 3 ケアマネジメントとエンパワメントについて、人権と人格の尊重、尊厳の保持の観点から理解する。
- 4 社会資源の現状と課題について演習を通し考え理解を深める。
- 5 介護保険を始めとする各種制度とケアマネジャーの現状、ケアマネジメントの課題について知識を深め理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	講義計画の説明およびケアマネジメントの社会福祉援助技術論における位置付けの理解	講義	武井 恒美
2	ケアマネジメントの定義と歴史（諸外国）	講義	武井 恒美
3	“ ” （我が国のケアマネジメントの担い手とあり方の変化・あり方検討会の議論を踏まえ）	講義	武井 恒美
4	ケアマネジメントの理念（エンパワメントに視点をおいて）	講義	武井 恒美
5	ケアマネジメントの機能（事例を織り交ぜながら）	講義	武井 恒美
6	ケアマネジメントの過程（インテークからアセスメント）	講義、演習	武井 恒美
7	ケアマネジメントの過程（プランニングとチームケア）	講義、演習	武井 恒美
8	ケアマネジメントの過程（モニタリングと終結）	講義、演習	武井 恒美
9	わが国の介護保険制度とケアマネジメントのあり方（その矛盾と発展の形）	講義	武井 恒美
10	ストレングスモデルアプローチ（自己評価）	講義、演習	武井 恒美
11	ストレングスモデルアプローチ（契約における障害）	講義、演習	武井 恒美
12	ストレングスモデルアプローチ（アセスメントおよびプランニング）	講義、演習	武井 恒美
13	ストレングスモデルアプローチ（社会資源の開発）	講義、演習	武井 恒美
14	ストレングスモデルアプローチ（まとめ）	講義	武井 恒美
15	高齢者虐待予防とケアマネジメントの役割	講義	武井 恒美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しない					
参考書	ケアマネジメント概論	白澤政和 他	中央法規出版	2000年	3,000円	
	社会福祉の思想と方法	青山良子、池内 明、佐藤 正枝 他	考古堂出版	2010年	1,600円 +税	
	高齢者・ストレンクスモデル・ケアマネジメント	ベッキー・ファースト、ローズマリー・チャピン、青木信雄 訳 他	筒井書房	2005年	1,800円	
その他の資料	講義中にプリントを配布する					

評価方法

学習目標記載の2、3、4については、一部演習を交えての習得を予定している。演習への主体的な参加姿勢はもとより、レポート試験内容と合わせて評価する。

履修上の留意点

上記に掲げた図書の中には、入手困難な書籍も含まれている。また、上記以外の書籍、資料を講師が引用したレジュメを作成し進行するため、購入は不要。

オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください
takei@nuhw.ac.jp